

サツマイモの生産と用途別仕向量（令和4年）

令和4年のサツマイモの生産状況と用途別仕向量を表-1に示した。全国の作付面積は32,262haで、生産量は716,540tである。鹿児島県、茨城県、千葉県、宮崎県の主要4県が作付面積の75%、生産量の80%を占めている。

用途別仕向状況をみると、生食用が53.5%と大半を占めており、うち農家自家消費8.7%を含む。焼耐用が19.2%、加工食品用が13.9%、でん粉用が7.9%と続いている。多くの県は生食用が中心だが、主要生産県では用途別の生産状況にはそれぞれ特徴がある。鹿児島県は焼耐用が42%、でん粉原料用が25%を占め、生食用を上回る。茨城県は生食用が多いものの、比較的加工食品用も多く、焼きいもや大学いも、干しいも等に仕向けられている。宮崎県は、焼耐用が64%を占めて

いる。

日本産のサツマイモは、甘みが強いことから海外でも人気があり、輸出額は増加傾向にあり、全体の割合は0.6%に過ぎないが、茨城や宮崎県では生産量の1.3～1.5%のシェアを占めている。令和4年の輸出額は27.9億円で、野菜の中ではイチゴに次いで第2位である。

総務省「家計調査」から、都道府県庁所在市及び政令指定都市のサツマイモの購入状況ランキングをみると、令和4年の第1位は徳島市で一世帯当たり購入金額1,998円、数量4,441kg、一人当たり消費量1,558gとなっている。続いて、滋賀県大津市、宮城県仙台市、大分市、神奈川県相模原市、群馬県前橋市、大阪市堺市となっている。

(K. O)

表-1 令和4年サツマイモの生産及び用途別仕向状況（上位15県）

順位	都道府県	作付面積 (ha)	生産量 (t)	用途別仕分け数量 (t)						
				生食	飼料	種子	加工食品	でん粉	焼耐	輸出
1	鹿児島	10,000	210,000	31,160	0	4,052	33,279	53,500	87,866	136
2	茨城	7,500	194,300	150,919	0	348	39,607	779	16	2,500
3	千葉	3,610	88,800	81,773	888	3,610	1,058	0	0	243
4	宮崎	3,080	77,900	9,267	0	272	16,167	1,450	49,601	1,143
5	徳島	1,090	27,000	21,874	5	0	966	0	35	0
6	熊本	816	19,000	17,103	54	91	1,486	0	216	43
7	静岡	504	9,250	6,953	0	504	1,738	0	0	114
8	埼玉	504	4,990	4,307	0	257	13	0	0	0
9	大分	369	6,500	6,284	0	0	69	0	126	82
10	神奈川	321	4,610	4,307	0	257	13	0	0	0
11	長崎	299	4,090	3,843	1	71	139	0	20	6
12	高知	281	6,490	4,539	0	713	1,168	0	70	0
13	愛知	273	3,760	3,676	0	51	0	0	0	0
14	沖縄	267	3,360	1,599	5	2	1,643	0	49※	41
15	三重	261	2,000	1,402	0	209	140	0	0	0
合計		32,262	716,540	383,282	1,892	11,767	99,863	56,729	138,243	4,336
用途別／生産量 (%)			100	53.5	0.3	1.6	13.9	7.9	19.2	0.6

注) 作付面積、生産量は農林水産省「作物統計」。仕向量は都道府県による地域作物課調べ。
沖縄の※は、焼耐用22t + その他アルコール用27tの合計。